

☆あったらいいなのサービス作り☆

# ゆう通信

44号  
2023年  
4月発行

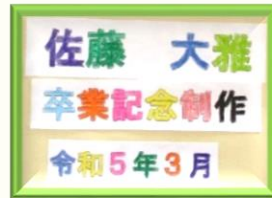
## 祝卒業 おめでとう

### ピーターパンふくおか

令和5年3月4日(土)に『卒業を祝う会』を開催しました。  
ピーターパンふくおかからは6名の方が卒業されました。  
みなさん、次のステップに進まれたことを大変嬉しく思います。  
これからもずっと応援しています！



### ピーターパン長命ヶ丘



令和4年度3月でピーターパン長命ヶ丘を卒業する、佐藤大雅さんがアイロンビーズで作りました。ひとつひとつのキャラクターの名前を調べてテプラで作ったり、題字の色塗りなど、全工程を自分で仕上げることができました。



▼大雅さんより一言▼  
『みんなに喜んで欲しい気持ちと、11年間(小2から利用しました)ピーターにありがとうございましたの気持ちを込めて作りました』

## 目次

「次なる春をむかえるために 中期計画の振り返りと今後に向けて」 代表理事 中村 祥子	.....	P2
～中期計画から pick up～ ショートステイゆう(短期入所) 現状のお知らせ	.....	P3
～中期計画から pick up～ 普段の危機管理への取り組み紹介	.....	P4～5
～中期計画から pick up～ 法人内支援の輪構築による連携の成果	.....	P6～7
中期計画の進捗と今年度の取り組み	.....	P8～11
ご寄付の使い道	.....	P11
スタッフリレー／第10走者：ワークスペース歩*歩 安藤 雪華子	.....	P12
NEW 職員紹介	.....	P12
賛助及びご寄付のお礼	.....	P12

## 次なる春をむかえるために 中期計画の振り返りと今後に向けて

代表理事 中村 祥子

### 🌸🌸 はじめに

中期計画とは、法人の目的を達成する為の3年から5年の行動計画である。現在進行中の2021年から2023年にかけての計画は、これまでの中で最も進捗状況の共有ができてきている点に特徴がある。次世代リーダーが責任者になって、社会的課題の“具体化”“見える化”を行い職員を巻き込んで進めたことが要因であると考えている。内容は「社会的課題解決」「支援の質の向上」「働く環境の改善」の3つで（内容と進捗状況はP8～11参照）、2023年度中に目標を達成させたいと取り組んでいる。

### 🌸🌸 これまでの社会的課題への取り組み

設立当初の任意団体は長期の事業計画は持たず“目の前の困ったと理不尽”に対応していた。当時は補助事業の「配食サービス」と「放課後ケア」、そして自主事業の「助け合い」だったが、3つのサービスを実施する過程で見えてきた社会的課題に民間助成や市の補助を得て取り組んだ。例をあげると、高齢者だけが対象だった配食の対象を在宅の障がい者に広げたり（ニーズに応じて自主配食を行い、実績数を重ねて市に必要性を訴え実現した）、当時、高齢者施設だけが実習先だったヘルパーの実習体験に障害者事業所の実習メニューを作った。（市から助成を受けて市内の障害事業所や家族の協力を得て「ヘルパーの障害実習講座」を実施）また、障がい児の支援は家族介護に依存しており、特に移動の手立ては家族が行うことが当然視されていた。放課後ケアのピーターパンが出来ても家族の送迎の負担回数が増えることになった為、放課後ケア事業の送迎サービスを実施した。仙台市で初めてだった。そしてノーマライゼーションの推進の為にボランティア体験活動や障害者手帳を持たないが生きにくさに苦しむ発達障害者に会い、地域の居場所作りや就労支援事業の開所を仙台市に交渉した。（当時制度事業対象者に発達障害者が明記されていなかった。）

これらはその後、制度化の際内容に盛り込まれた。あきらめないで実行する効果を確信した。

### 🌸🌸 現在の社会的課題への取り組み

そして法人になってからは、制度外事業に加えて制度事業も含め、地域で安心して暮らすことを目指してきた。今期の中期計画でも進めてきた「連携によるトータルサポートの推進」は、①社会サービスをつなぐ ②ライフステージを横断してつなぐ ③本人を取り巻く社会資源（家族・支援者・関係機関）をつなぐ の「3つのつなぐ」を推進しての社会的課題の解決を目指している。担い手になり得る人材は育ちつつある。今後、地域の他団体と協働を進め、本人の自立をサポートする支援の輪をつないでいきたい。

### 🌸🌸 今後に向けて

さて、グループゆうの良さは、利用者本位にあり、職員の真摯な支援の姿勢にある。それは「数」をこなす事業とは相いれないものがあり、その姿勢はこれまで改善の対象にしてこなかった。だが2022年度の決算は今後の法人の継続を危惧させるものになった。

今日もグループゆうを拠り所にして下さる利用者や家族が来所される。

この場所をなくしてはならない。

次なる春を迎える為に、この一年が正念場になる。



～中期計画から pick up～  
**ショートステイゆう(短期入所)現状のお知らせ**

ショートステイゆう  
 の  
 とある一日

ショートステイゆうでは、色々なご協力を頂き、まだまだ勉強をさせて頂いている段階ではありますが、2月より木曜日のみ、男性の方の受け入れを開始する事が出来ました。これからどんどん変わっていくとは思いますが「ショートステイゆう」のとある一日をご紹介します。

18:00	18:10	19:10	20:00	21:00	7:50	8:00	8:30	9:00	
ショートステイゆうに到着	夕食	のんびり入浴	歯磨き	自由時間	就寝	起床	朝食	洗顔、歯磨き、着替え	送迎

※これはあくまで一例です。お一人お一人の普段の生活に合わせて、皆さんのご自宅の様に安心してのんびり過ごして頂けるショートステイを目指しています。

ショートステイを利用する為に手続きは何か必要？

**A.** ショートステイのご利用を希望する場合には、まずはお住まいの区の区役所・宮城総合支所の障害高齢課で障害福祉サービスの利用申請を行い、障害支援区分の認定、短期入所の支給決定を受けていただく必要があります。支給決定後にショートステイゆうと契約(登録)をし、利用できるようになります。  
 なお、原則として月7日間の利用が可能です。  
 現在、計画相談を利用されている方は、相談支援専門員にご相談を。

料金はかかるの？

**A.** 料金は①障害福祉サービス利用料金+②実費料金となります。

- ①障害福祉サービス利用料金(負担上限月額)…0~37,200円  
 \*所得(18歳以上の方はご本人(と、配偶者)、18歳未満の方は世帯)に応じて異なります。\*障害福祉サービス受給者証をご確認下さい。
- ②実費料金…食事代+光熱水費
  - ◎食事代…食事提供体制加算の該当・非該当により、金額が変わります。\*障害福祉サービス受給者証をご確認下さい。  
 ・食事提供体制加算 該当：夕食代/350円 朝食代/250円  
 ・ // 非該当：夕食代/650円 朝食代/550円
  - ◎光熱水費…どなたも共通で1泊350円です。

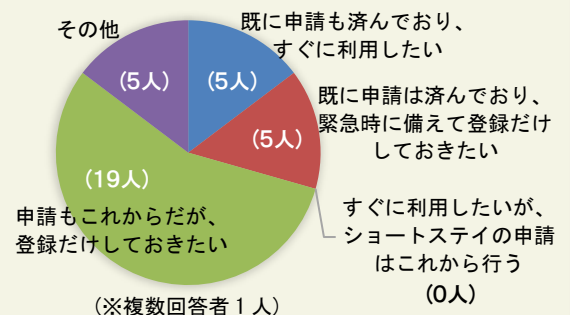
**【例】食事提供体制加算該当の方が月3泊ご利用された場合の1か月の料金**

①障害福祉サービス利用料金(0~37,200円)	} 合計	2,850円
②実費料金 (食事代1泊600円×3泊) (光熱水費350円×3泊)		40,050円

◆◆◆ショートステイゆうの今後◆◆◆

12月に皆様にご協力いただきましたアンケートでは、有難い事に現在グループゆうのサービスをご利用いただいている方のうち33名の方から利用したいというご回答をいただきました。  
 ご回答いただきました皆様のご希望に添えるように4月より申請がお済みの方から順次契約(登録)手続きを進めさせていただく予定です。  
 また、ご登録いただいた際には、緊急時のみのご利用を予定している方でも、事前のショートステイ体験をお願いする予定としております。ご協力をお願い致します。

ショートステイアンケート結果 (利用希望者内訳)



# ～中期計画から pick up～ 普段の危機管

令和3年度の制度改定により、令和6年度から業務継続に向けた計画(BCP)の策定や研修及び訓練の実施  
 自然災害時のBCPを策定中です。内容には大地震や水害等の自然災害に備え、平時から準備・検討しておく  
 そこで今回は、平時の備えとしてピーターパンふくおかで実施している『避難する時だけのいつもと違うルール』

ピーターパンふくおかでは毎年、火災や地震を想定して子どもたちと一緒に避難の練習を続けています。  
 ひとり一人特性の違うおよそ10人の子どもたちが適切な避難行動が取れるように、配慮しているポイントや  
 工夫を3つの項目にまとめてみました。

## ① 映像教材を使った事前学習

地震や火災、水害などは実体験ができないため、  
 子供たちはイメージが持ちにくく、“何のための練習なのか” “実際にはどうということが起こるのか”が伝わりにくいことがあります。

そこで、子供向けの防災DVDやYoutubeの映像を見て、具体的なイメージを持ってもらいます。



子供向けの防災DVDは様々な種類があり、近隣の消防署で貸し出しをしてくれます。



Youtubeでも分かりやすい防災啓発動画が上がっています。

- 【参考】
- ・愛媛県公式チャンネル「みきゃんの防災教室」(子ども向け)
  - ・フレームワークを活用した自閉症支援(職員向け)「特性を考慮した事業所や学校での避難訓練の進め方」



## ② 避難をするときの合図

言葉の指示では正確に理解して動くことが難しいお子さんもいますので、平時の訓練時に**避難困難児の把握**や**どういう配慮が必要になるかアセスメント**をすることを心がけています。また、避難が必要な時にすぐ使えるツールを準備しています。

実際に療育中にサイレンを鳴らして、“遊びや作業の途中でも中止して避難する練習”を繰り返します。その際、急なサイレン音にパニックになってしまう方の場合には予め避難訓練があることをスケジュール上で予告しています。

＝非難が必要な時、すぐに使えるツール＝

### ● 拡声器のサイレンによる合図

言葉の指示が分からなくてもサイレン音が鳴ると避難の合図だと分かります。



### ● 視覚的に伝えるカード

各部屋のエリアに複数枚ずつぶら下げています





# 理への取り組み紹介

等が義務化されました。グループゆうでも災害対策委員会を立ち上げ、べきことや発生時の対応について訓練することも盛り込まれています。を身に付けてもらうための特性に合わせた避難訓練やその学習についてご紹介します。

※BCP(業務継続計画)とは・・・大規模震災や水害などの自然災害が起きたとしても、障害福祉サービスを継続的に提供できるように体制を整えるための計画。

## ③避難をする時だけの特別なルールの理解

災害時は通常とは違った動きが求められます。特に火災時は速やかに外に避難しなければならないため、本番を想定した練習が必要になります。分かりやすいツールを使いながら、無理なく何度も繰り返し練習することで、『避難をする時だけのいつもとは違うルール』を身に付けることができます。

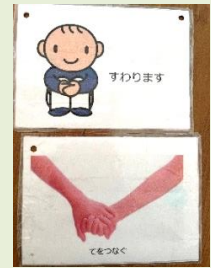
特別な  
ルールの  
一例

- 靴を履かないで外に出る
- 外に出る前でも上着や靴下を履かない、自分の荷物を持たない
- 決められた場所に避難する
- 決められた避難場所で短い時間座って待つ
- 実際の災害時には室内には戻れない etc...

これらのルールを身に付けられるようにするための訓練時の配慮



- ◎玄関にシートを敷いて今は靴を履かないことを知らせます。
- ◎靴を履かないと避難が難しいお子さんの把握をしておく、避難時の職員の動きも想定しやすくなります。



- ◎避難場所にはブルーシートなどをさっと敷けるようにしておき、どこに集合したらよいかを分かりやすく示します。
- ◎シートの中に留まることも同時に練習し、『避難行動時に必要な指示カード』を使ってお知らせします。

◎実際の災害時には建物内に戻れないため、そのまま車に乗る練習をすることもあります。(注意点:靴や荷物がなくても車に乗ることを覚えるために、帰りの送迎の流れでは練習をしません。)



◎訓練では室内に戻る時もありますが、大切なことは、間違った習慣にならないよう、必ず指示を受けて次の場所へ移動することを教えます。



▲次の移動先カード



- ◎避難場所で短い時間座って待つ練習では必要に応じて待つためのグッズやタイマー等を『持ち出しリュック』に入れておきます。

以上がピーターパンふくおかの平時の避難訓練の取り組み内容です。まだまだ改善の余地はありますが、特別な配慮が必要なお子さんだからこそ練習を通じてアセスメントを実施し、実際の災害時に無理なく安全に避難ができるよう、これからも特性に合わせた対応を工夫し取り組みを続けていきたいと思えます。

～中期計画から pick up～

# 法人内『支援の輪』構築による連携の成果

“支援の輪”とは、「ご本人の安心を実現するための、ご本人を囲む人(支援者・理解者等)やサービスの繋がり」という意味が込められています。また支援者が利用者・ご家族と向き合う中で見立てや支援のあり方等に悩んだり、つまずいたりした時に、他の支援者に相談をして多角的な視点からアドバイスを受け、新たな学びや気付きを得てそれを利用者さんに還元していくという、連携と循環も含んでいます。今回は法人内スーパーバイザー(佐藤裕信)とピーターパンふくおかの事例をご紹介します。

## ピーターパンふくおかでの ●困りごと●

- ご本人の言動に対してどのように捉えていけばよいのか(状態把握のアセスメント)
- ご家族をどのように支えていけばよいか



スーパーバイザーへ相談

ご本人へのアセスメント

面談

家庭訪問同行

連携



## ●職員の学び・気付き●

### ●ご本人への関わり方

これまではパニックや不安定になった時に、静かに過ごせる場所で落ち着くまで声をかけず見守る事が多かったのですが、時には本人の気持ちを代弁したり、共感して受け止めたりすることが大切だと気付きました。本人だけではうまく気持ちを切り替えられない時に、支援者が近づき背中をさすりながら本人が思っている伝えたい気持ちや上手く出来なかった事を、支援者が感じ取り言葉にして声をかけてあげることで、立ち直す手助けになるのだと思いました。

また、他人と何か対象を共有して楽しむ事も大切だと気付きました。布団に包まったり、一人で音楽を聴いたりと自分で気持ちを落ち着かせる事も必要だとは思いますが、他者とのやり取りで調整していくことも大切になり、自己調整だけではどうにもならない不安や緊張に襲われた時に周りの人との関わりで安心して落ち着けることを体感していただくことも必要だと思いました。

### 支援の工夫

パニック時に、職員と一緒に手遊びや絵を描いたり、手をつないでバランスボールに乗ってみたいなどの活動も試みてみます。

### ●家族支援

ご家族との面談ではご本人に対する疑問や悩みにアドバイスしていただくだけではなく、家族全体の悩みや不安に寄り添い一緒に考えていく事が大切だと学びました。

また、ご本人との面談では会話の中で好きな物を知って膨らませていくことで関係を深めたり、大切な物を貸してくれるのか、借りた物を壊してしまったらどのように反応するのかなど一つの会話ややり取りに意味があるのだと気付きました。また、ご本人に直接困っている事や悩んでいる事を聞き取ることで、しっかりと気持ちを聞いてくれる人がいるのであれば挑戦してみようと思っていただけのだと感じました。

### 支援の工夫

普段の活動の中でも悩みや困っている事、好きな事などを話せる時間を設定して聞き取り、安心して挑戦できる場所を作りたいと思います。

## ○スーパーバイザーの見立て○

### ■自閉症の認知特性を意識し、現在の状態把握が大切

自閉性の認知(ものの見方、捉え方)には、特性があり、周りの情報(刺激)をどのように取り入れているのかといった点に、療育者・支援者は、意識が必要です。様々な刺激から、その「意味合い」を汲み取るために、情報を取捨選択して取り入れるのですが、この選択に特性が見られます。余りにも強い刺激(大きな声、予想外の動きなど)だと、その刺激が自分の身体には侵襲的に感じられます。

この侵襲性から、自分を守れず、衝動性・多動性・パニックを呈し、自分を守ろうとします。身体は「動いている」と感じられるのです。この多動などの問題行動は、身を守る方略です。そのため、この侵襲性を和らげる手立てが、いつ、どこで、何をし、どうやって終わるのかといった「見える化(構造化)」です。

ただ、構造化による視覚支援で、刺激を取捨選択し、主体の自己を保てれば良いのですが、自分がまだ、未形成で、周りの刺激に翻弄されていると、自分で自分を感じられなくなります。そこで、自分の顔を叩いたり「自傷」をすることで、自分がここにあるという実感を手に入れるのでしょう。悲しい行為です。更に、深刻になると「感じる」こと自体を遠ざけてしまいます。「解離」することで、自分に蓋をし、結果自分を守っていきます。この「多動」「自傷」「解離」といった、どの状態像にあるのかを見立てることが大切です。

### ■関係性を見立て

また、「関係性」の見立ても重要です。自閉性の方は、他者に注意や関心を向ける志向性より、ものに注意を向けることが多くあります。人よりもなので、母親はお子さんが、どのように感じたり、思ったりしているのか、読み取りにくくなります。どのように関わったり、どこを目指していけば良いのか、戸惑うことになり、絶えずお子さんとの関りに安心感が持てません。

そこで、お子さんの感じている世界をイメージし、何を課題にするのかといった道筋を、支援者と一緒に考えないといけません。また、そもそもお子さんとの関りに、気付きや発見があるように、母子の関係性を整えていく必要があります。そこが、まさしく家族支援です。

母親が、どのような戸惑いや葛藤、悩みを抱えていて、どの思いを支えに、どこから課題を整理していくのか、母親の特性受容を狙いとした伴走が必要となります。

## ○スーパーバイザーからの職員へのアドバイス○

### ●ご本人への関わり方

「自傷」や「不登校」といった状態像から、自分が自分に「つながりを持っていない」「主体性」の課題が見えました。この心理的な発達課題を念頭に、関りを変える必要を伝えました。職員の動きに「成り込んでもらう」、一緒に職員と物を操作して同じ世界に入るなど、『情動律動』を意識した関りの中で、自分を立ち上がらせるイメージを、職員に持ってもらいました。相互にリズムが立ち上がる場を、活動の中に取り入れて、自己を育てるイメージです。自分と言う器は、人との関わりの中で作られるものなので、相互性を意識してもらいました。

### ●家族支援

家族支援では、保護者の面接に私が同席することを提案しました。「受容」というのは、受け入れるこちら側(支援・家族)が、変わらないと受け入れは出来ません。自分を変えないで、相手を受け入れることは、出来ないのです。これまでの自分の殻に、亀裂を入れて、その中に他者を落とし込んでいかないといけません。この自分への「否定性」が必要なのですが、これには、大きな痛みが伴います。この「否定性」に向かう痛みを、我が事のように支援者も味わうことになるのです。子を前に一緒に母親と支援者が「痛む」ことが大切です。

この自分を一旦否定するという意志、能動性を発揮しないと、相手を受容するという受動性は生まれません。次にこの能動性を発揮できるように、母親の思いや戸惑いを受け止めて、母親の「迷う」「悩む」という心構えを支援者が支える姿を、少し職員に見てもらおうと考えました。

力のあるお母さんなので、よくぞ、一旦自分を「否定」し、「受容」へと向かうことができたこと、感心しています。否定する能動性と受け入れる受動性は、絶えず繰り返すこととなりますが、丁寧に気持ちを汲み取りながら、お子さんと母親に向き合ってほしいと思います。



# 中期計画の進捗と今年度の取り組み

## 2023 年度の達成目標

## 2023 年度に継続して取り組むこと

## 2021・2022 年度の達成事項

### 経営の安定 新規事業の運営

- ◇新規事業の運営開始
- ◇経営研修

継続事項

- \*9月まで各事業による赤字解消策の実施
- \*短期入所と日中一時の運営

- ◇新規事業の決定(6月)/開設準備(人・物・内容)
- ◇経営研修…赤字事業の検討/事業の方向性決定(7月)

- 達成事項
- \*短期入所の開設
  - \*赤字事業(ワーク/長P/計画相談)各事業で原因分析と今後の対策を検討
  - \*建物修理助成金申請

### 処遇・給与の仕組み の明確化 賞与 1.2 ヶ月の実施 キャリアラダーの 完成

- ◇新しい人事評価・処遇・キャリアアップ体系の開始(5月総会)
- ◇キャリアラダーに沿った職位別研修実施

継続事項

- \*改正キャリアラダー・評価項目・評価シートの完成と実施・周知

- ◇人事評価・給与体系・職務分掌の見直し・作成(3月)
- ◇キャリアラダー・評価項目・評価シートの検討・作成(9月)
- ◇事業収入の仕組みの共有(処遇改善)

- 達成事項
- \*人事評価改正のたたき台作り研修の実施
  - \*キャリアラダー・評価項目・評価シートのたたき台作成
  - \*評価項目の職員研修
  - \*処遇改善の仕組みの説明会実施

### 危機管理体制の 整備

- ※虐待防止委員会  
(令和4年から義務)
- ※BCP・感染対策委員会  
(令和6年から義務)

- ◇全事業所で災害時BCPの完成・運用
- ◇感染対策準備委員会での年間計画(研修を含む)の作成

継続事項

- \*短期入所、居宅介護のコロナBCPの作成

- ◇全事業所でコロナBCPの完成・運用
- ◇虐待防止委員会による研修実施と指針運用・通信の発行
- ◇感染対策準備委員会の設置と指針の作成

- 達成事項
- \*各事業のコロナBCPの完成
  - \*虐待防止委員会の開催/研修の実施/にじ通信の発行
  - \*感染症対策準備委員会の設置/指針の完成



2023年度の達成目標	2023年度に継続して取り組むこと	2021・2022年度の達成事項
<p>基礎・中堅・管理者 研修計画の実施</p>	<p>◇キャリアラダーに沿った職位別研修実施</p> <p><b>継続事項</b> *職位別年間研修計画の実施</p>	<p>◇基礎・中堅・管理者に必要な内部研修について検討・作成 ◇他事業所の取り組みについて情報収集 ◇講師の選定・年間計画の立案・対象者の選定</p> <p><b>達成事項</b> *職位別年間研修項目の作成</p>
<p>法人内の支援の輪 構築</p>	<p>←</p> <p><b>継続事項</b> *検討会または報告会の実施</p>	<p>◇法人内合同支援事例検討会の実施</p> <p><b>達成事項</b> *法人内合同支援事例報告会の実施</p>
<p>法人内での 保護者勉強会の開催</p>	<p>◇法人内保護者勉強会の開催</p> <p><b>継続事項</b> *年間研修計画の実施</p>	<p>◇法人内保護者勉強会の内容検討・計画作成</p> <p><b>達成事項</b> *職位別研修計画と合同で研修計画の作成／内容の検討</p>
<p>風通しの良い職場 環境づくり</p>	<p>◇法人内交流イベント開催(9月・12月)</p> <p><b>継続事項</b> *コロナ禍でも実施可能な形態の検討</p>	<p>◇各事業所ごとおよび法人内での交流会開催(1回)</p> <p><b>達成事項</b> ×(コロナ禍により中止)</p>
<p>各町内での 顔の見える関係 づくり</p>	<p>◇各町内で地域貢献・交流イベント開催(まつり・ゴミ拾い等)</p> <p><b>継続事項</b> *コロナ禍でも実施可能な形態の検討 *町内会へのゆう通信やパンフレットの配布</p>	<p>◇各事業ごとに地域情報を収集し、挨拶に行く ◇地域住民との交流企画を各事業で検討</p> <p><b>達成事項</b> [法人]*南中山地区社協への参加 [サンホーム]*児童館の運営会議 *町内会防災連絡会 [長 P]*児童館への訪問 *市民センターと保育所への挨拶 [ふく P]*地域のお祭りの見学 *町内の散歩中での交流 [ワーク]*光明支援学校での受注販売 *近隣のコンビニへの挨拶</p>

2023 年度の達成目標	2023 年度に継続して取り組むこと	2021・2022 年度の達成事項
<p>ネットワークおよび法人独自での政策提言</p>	<p>◇ネットワーク又は法人で必要な政策提言</p> <p><b>継続事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*各事業ごとに関連するネットワークへの参加継続</li> <li>*役割分担の明確化</li> <li>*事業別に参画できる職員の育成</li> </ul>	<p>◇各事業ごとに関連するネットワーク会議に参加</p> <p><b>達成事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*福祉ネットみやぎ</li> <li>*南中山地域包括ケア会議</li> <li>*まちづくりスポット仙台</li> <li>*あがいんチーム</li> <li>*みやぎ農福連携推進ネットワーク</li> <li>*宮城就業支援ネットワーク</li> <li>*放課後ネットワーク仙台</li> <li>*全国放課後連</li> <li>*TEACCH 研究会東北支部</li> <li>*ASSEM 勉強会</li> <li>*ひろがりネット</li> <li>*地域活動推進センター連絡会</li> <li>*仙台市障害児通園施設連絡協議会</li> <li>*宮城県障害児通園施設連絡協議会</li> <li>*児童発達支援センター地域相談員連絡会</li> <li>*児童発達支援センターOT/PT 連絡会</li> </ul>
<p>認定 NPO の 3 期目の更新</p>	<p>◇認定 NPO の更新(3月)/認定 NPO 取得のための市民寄付者 100 名/年</p> <p><b>継続事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*令和6年3月31日までに180名の寄付者をめざす</li> </ul>	<p>◇認定 NPO のための市民寄付者</p> <p>2021年度:80/100名・2022年度:97/100名</p> <p><b>達成事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*職員のアイデア募集による「寄付者募集の広報の在り方」改正</li> </ul>
<p>法人パンフレットのリニューアル</p>	<p>◇法人パンフレットのリニューアル</p> <p><b>継続事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*運営会議にて分かりやすいミッションの説明を記載した法人パンフレットの作成</li> </ul>	<p>◇分かりやすいミッションアピールの見直し</p> <p><b>達成事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*現ミッションに関しての職員へのイメージ調査</li> <li>*より具体的な分かりやすいミッションのためのアイデア出し</li> </ul>
<p>HP・通信・パンフレットでの情報発信</p>	<p>◇ゆう通信4回/年(5・8・11・2月)</p> <p><b>継続事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*年4回発行のための年間計画作成</li> <li>*原稿の分担</li> </ul> <p>←</p> <p><b>継続事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*最新情報のタイムリーな反映</li> <li>*より効果的な広報ツールとしての活用を検討</li> </ul>	<p>◇ゆう通信2回/年(5・11月)</p> <p>◇ゆう通信の編集チーム役割分担検討</p> <p><b>達成事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*年2回発行(5月・11月)各 400 部</li> </ul> <p>←</p> <p>◇ホームページへの掲載情報の検討</p> <p>◇ホームページの修正と更新</p> <p><b>達成事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*求人や放課後等デイサービスの自己評価結果、ゆう通信の掲載</li> <li>*担当者の増員(菅野・高木)</li> </ul>

2023年度の達成目標	2023年度に継続して取り組むこと	2021・2022年度の達成事項
新事務局の設置	◇新事務局の設置・体制開始(6月～) 継続事項 *新事務局長が兼務している事業の管理者の確保	◇事務局の業務洗い出しと引継ぎ 達成事項 *事務局長業務の洗い出し *事務局長が兼務していた事業管理者の業務を引継ぎ
新理事新体制での運営	◇新理事新体制での運営(6月～) 継続事項 *理事会で外部理事並びに内部理事の推薦	◇理事の役割・責任の明文化 達成事項 *外部理事候補者を含む評議委員会の設置

2022年度は97名の皆さまにご寄付いただきました。  
各事業所で以下の物品の購入資金の一部として使わせていただきました。

日頃よりあたたかいご支援を賜っております皆様には感謝申しあげ、より一層、質の向上に向けて取り組んでまいります。

### 仙台市サンホーム

#### チャイルドシート

バス専用シートで、利用者様を安全に送迎させていただくために使わせていただいています。



### ピーターパン長命ヶ丘

#### 児童発達支援の玄関アプローチの改修

幼児が安全に歩行できるアプローチに改修しました。



### ピーターパンふくおか



防災素材のパーテーション  
福祉施設で義務となっている防災素材のカーテンを購入させていただき、パーテーションを手作りました。

### ワークスペース歩°歩°



#### 電気ポット

利用者様の休憩時や昼食時にホットと一息のコーヒーを淹れるのに大活躍しています♪



### ホームヘルプサービス・助け合い



#### 衛生用品

感染対策に必要な消耗品や使い捨て用品を揃えさせていただきました。

感謝





## スタッフリレー

職員が職員にバトンを渡し質問したり、仕事以外の自由記述から普段は見えない素顔を紹介するコーナーです。第9走者「関野 緑さん」から第10走者「安藤雪華子さん」へバトンが渡されました。

### ●第10走者: <sup>あんどう ゆかこ</sup> 安藤 雪華子

- 所属：ワークスペース歩°歩°
- 勤続年数：2年
- 出身地：山形生まれ 宮城育ち





#### 安藤さん教えて! ※関野 緑さんからの質問です

- 好きな食べ物：甘い物♥和菓子も洋菓子も大好き♪
- 自分の性格を一言で：カメみたいなのんびり屋です
- リフレッシュ方法は：晴れた日にドライブやピクニックに行くことです!
- 一番会ってみたい人：南中山出身のYouTuber『かつー』さんです!
- 仕事で大切にしていること：何事も楽しめるように考えたり工夫をしたりしています◎

#### 自由記述欄

#### 私の好きなもの♥好きなこと♥

- ① 冬の晴れた日に窓辺でひなたぼっこしているとき 
- ② 夏に雨が降ったときのおい 
- ③ お気に入りの本や映画のDVDを買って、棚に並べること
- ④ 歩°歩°の美味しいクッキーを食べること♥
- ⑤ 好きなラジオ番組を聞いて笑っているとき
- ⑥ リクガメとナマケモノとセキレイ




家で飼っている  
リクガメの『もなか』♥



動物カフェで  
ナマケモノをモデルに📷

ほかにもたくさんあるのですが、本日はここまで!  
少しでも共感できた方がいたらぜひ教えてくださいね♪

 第10走者 安藤 雪華子さんから、ピーターパンふくおかの大沼 千紘さんにバトンが渡されます。次号もお楽しみに!

## New 職員紹介

### ワークスペース歩°歩°

<sup>あかつか ちさ</sup>  
赤塚 千紗さん  
R5年1月～



- ・趣味・特技…パン屋巡り
- ・好きな言葉…なるようになる
- ・抱負…これからたくさん勉強して気持ちに寄り添った支援が出来るように頑張ります。



あたたかいご支援に勇気をいただいております。  
ありがとうございました。

### ご寄付いただいた方々 (R4年11月～R5年3月)

(※敬称は略させていただきます)

あかねグループ、阿部浩二、阿部淑野、有路耐子、池田敏彦、梅津工司、小田 聡、加藤幸治・恵、上岡康子、川北信子、菅野佳奈美、菅野淑江、木村明枝、児玉すみ子・弘樹、今野可成江、せんだい杜の子ども劇場 代表理事 斎藤純子、齋藤真瑠、笹岡靖子、佐々木節子、佐々木千栄子、佐藤裕信、佐藤美沙、澤里幸一、澤里森子、澤里友紀、澤里優美、清水八千代、菅原知子、鈴木寿恵、関場千里、関野 緑、高橋恵美子、高橋八重子、滝田 誠、竹内亮子、都丸晃彦、中野広光、中野亜衣、中村義光、濱本紗智子、濱谷幸子、平田全廣、藤田佐和子、丸 清志、三浦真智子、三上昌幾、森 南、門馬伸至、門馬 崇、門馬文雄、山家由布子、横澤佳奈、和田栄子

原稿を書き終えたら、春の野に出て、ヨモギを摘んで、草もちを作ります!

N

新年度一冊目🎉  
年度変わりの多忙に打ち勝った証です!

A

あっという間に一年が過ぎ4月から新年度がスタート。年々、時間の経過が早く感じます。K

K

今年こそ友人と花見をしようと思っていたのに…桜前線はあっという間に北上(涙)来年こそは! T

T

発行:認定 NPO 法人 グループゆう  
〒981-3212 仙台市泉区南中山 2-12-3  
TEL/FAX:022-376-7679